

普及誌「はくさん」(第 53 巻第 2 号)の発行について

1 趣旨

石川県白山自然保護センターでは、白山地域の自然・文化及び自然保護の正しい理解と普及を図るため、普及誌「はくさん」を発行(年 3 回)しています。

2 執筆・編集

執筆は、当センター職員をはじめ白山地域の調査・研究に携わる方々に依頼し、編集は当センターで行っています。

3 規格・印刷部数 A4 版 16 頁(カラー) 1,500 部

4 主な配布先

関係行政機関、図書館、博物館、中学、高校、大学のほか、一般の方々にも広く配布しています。

5 内容

表紙 カエデの紅葉の科学と個性

美しい紅葉を見せるカエデは種類によって葉の形は様々。緑の葉が秋の深まりとともに赤や黄に変わっていく。形の違いや紅葉の要因となる葉に含まれる色素成分の変化について紹介。 文章:岩本華奈 イラスト:内藤恭子(当センター)

(1) あなたは何種類みつけられる? 中宮展示館のカエデ・モミジ

ムクロジ科カエデ属に属する植物は日本には約 30 種類あると言われる。白山白川郷ホワイトロード石川県側の入口近くにある中宮展示館で見られるカエデ 8 種の葉の形など、その特徴について紅葉した葉のイラストを交えて紹介。

岩本華奈(文章)・内藤恭子(イラスト)(当センター)

(2) 焼畑体験記

とても丁寧に手をかけて準備されていたかつて白峰の焼畑、特に、ヒエを栽培する焼畑「ヒエナギ」について、筆者が仲間とともに有識者の支援のもとで体験したことを作業工程に従って詳細に紹介。

河田昭一(白山自然ガイドボランティア)・河本裕子(京都大学・研究員)

(3) 触れる標本づくり始めました ～手にとって体感できる展示～

博物館等では一部を除き、触れることが難しい展示物。当センターでは、手に触れて感触を確かめることができる毛皮標本づくりを始めた。中宮展示館やブナオ山観察舎で展示されている触れる毛皮標本がどのように制作されているかを紹介。

近藤 崇(当センター)

(4) 色鮮やかに輝く昆虫たち ～構造色が創り出す色の不思議～

動物の中でもその種類が突出して多い昆虫、そんな中に、まるで宝石のように色鮮やかに輝くものがある。この色の秘密は、「構造色」と呼ばれる巧みな仕組みにある。その色をもつ虫とその仕組みについて紹介。 川島敦仁(当センター)

(5) センターの動き

6 その他

普及誌「はくさん」は、白山自然保護センター、中宮展示館、市ノ瀬ビジターセンターなどの施設で配布。また、インターネット上で PDF ファイルを公開。郵送希望の方は住所・氏名・電話番号を明記の上、切手(110 円/冊)を送料として添えて、下記へお申込み下さい。

石川県白山自然保護センター

(住所) 〒920-2326 白山市木滑ヌ 4

(電話) 076-255-5321 (FAX) 076-255-5323 (E-mail) hakusan@pref.ishikawa.lg.jp

(URL) <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/hakusan/index.html>